

「子ども食堂」がネットワーク 支援受け食料を無料配布



フードパントリーのために用意されたお米100袋とミネラルウォーターの受け渡し(ベルク・フォルテ津田沼店で)

習志野市内で「子ども食堂」を運営する4団体を中心に、子どもの貧困による食の支援や居場所づくり対策の一環として「習志野子ども食堂ネットワーク」が設立され、「フードパントリー(食料の無料配布)」が7月23日に行われた。

習志野子ども食堂ネットワークは、各子ども食堂の情報共有と連携強化を目的に、新たな子ども食堂の立上げ支援や、寄付金、寄付食品の受け入れと分配、地域における啓発などに取り組んでいく。

フードパントリーを前

に、株式会社ベルクでは呼びかけにに応じ、お米5kg入り100袋とミネラルウォーターを寄付した。フォルテ津田沼店で、習志野子ども食堂ネットワークの会長であり、五十嵐会長は「ネットワークで協力し、できるだけ多くの子どもたちに届けたい」と語った。

ベルク店舗開発部の中島敏マネージャーによれば、経営トップも支援に積極的で、フォルテ津田沼店では「地域とのつながりは大切にしたい。SDGsにもつながります」と話し、今後

も支援を続ける意向だ。夏休みに入るこの時期、給食を頼りにしている家庭もあり、食事の回数を減らす困窮家庭もあるという。支援体制について災害さんは「商工会議所、商店会連合会、社会福祉協議会、習志野市も好意的でありがたい」、五十嵐会長は「ネットワークで協力し、できるだけ多くの子どもたちに届けたい」と語った。

チラシでの告知もあり、フードパントリーには、約150人の申込みがあった。企業や個人の支援の輪は広がっている。

阿武松部屋力士7月場所成績表 ドルフィンズアリーナ(愛知県体育館) 7月10日~24日

幕内	ひこ名		結果
	東15枚目	○ 阿武咲	10勝5敗
幕下	西29枚目	● 二本柳	2勝5敗
	東40枚目	○ 勇磨	5勝2敗
	西40枚目	● 土佐緑	3勝4敗
	東56枚目	● 慶天海	1勝6敗
三段目	東19枚目	○ 秋良	4勝3敗
	西25枚目	○ 天王山	4勝3敗
	東42枚目	● 荒雄山	3勝4敗
	東45枚目	○ 益湊	6勝1敗
序二段	西52枚目	● 稲葉	1勝6敗
	西65枚目	禎ノ花	休 場
	西73枚目	○ 道颯	4勝3敗
	西85枚目	○ 大志松	4勝3敗
	東87枚目	● 大天真	1勝6敗

日、千秋楽を迎えた。阿武松部屋の幕内力士、阿武咲関は初日から2連敗。その後、3連勝、終盤に5連勝し10勝を上げた。大相撲9月場所は9月11日から東京・両国の国技館で開催。

女子シングルス一般優勝の
鶴岡選手



男子シングルス一般優勝の
奈良選手



習志野市卓球連盟主催の第26回春季市民卓球大会が6月12日、東部体育館で開かれた。

男子、女子、混成の各部で一般、ジュニアなど合わせて11部門にわかれて競われた。

春季市民卓球大会

大会結果は次の通り。

【男子】

▽シングルス一般

- ①奈良大輔(卓友会) ②石井隆聖(千葉工大) ③山口佑介(千葉工大) ③古川真也(卓友会)
- ▽シングルスジュニア

- ①吉野瑛太(習志野卓球クラブ) ②大竹春輝(東邦高) ③巻潤隼人(敬愛学園高) ③尾形真知(千葉商大付属高)
- ▽シングルス60歳70歳以上



男子ダブルス優勝の山口・中田組

- ①磯谷春男(東習クラブ) ②杉山貞己(秋津卓球クラブ) ③福元忠夫(シューダ) ③山口順(シューダ)
- ▽ダブルス

- ①山口佑介・中田純暉(千葉工大) ②磯野奨太・碓水大輝(卓友会) ③奈良大輔・古川真也(卓友会) ③荻原拓・尾和真之介(東邦高)
- 【女子】

- ▽シングルス二一般
- ①鶴岡里紗(千葉工大) ②藤田かおる子(千葉工大)
- ▽シングルスジュニア



女子ダブルス優勝の林・徳永組



女子シングルスジュニア優勝の福島選手と準優勝の坂本選手

- ①磯谷春男(東習クラブ) ②杉山貞己(秋津卓球クラブ) ③福元忠夫(シューダ) ③山口順(シューダ)
- ▽ダブルス

- ①小川あいこ(Mクラブ) ②徳永真美(Mクラブ) ③松永乃杉(実稲高)
- ▽シングルス60歳以上

- ①大塚真理(Mクラブ) ②鈴木美也子(個人)
- ▽ダブルス



女子シングルス60歳以上優勝の大塚選手



女子シングルス50歳以上優勝の小川選手



初級シングルス準優勝の伊藤選手(画像提供:第五中学校卓球部)



初級ダブルス優勝の長谷川・富田組と準優勝の中郷生方組(画像提供:第五中学校卓球部)

小学ソフトの習志野スーパーガールズ 全国大会出場を報告



宮本市長から激励を受ける習志野スーパーガールズ

の初戦は2日目、東京代表の葛飾ダイヤモンドガールズと静岡代表の掛川桔梗女子ソフトとの勝者と対戦。

出場報告にはメンバーのうち10人とチーム代表の藤田勉さん、習志野市ソフトボール協会の矢坂英子会長が出席した。副キャプテンを務める加藤史奈さんは「春の大会での悔しい思いを踏まえて、夏の大会では一つでも多く勝てるようにがんばりますので、応援よろしく願います」と抱負を述べた。

宮本市長は「全国優勝レベルのみなさんですから、監督の下、そのことを信じて戦ってもらいたい。習志野市の誇りで楽しんでいます。習志野市教育委員会の小原隆教育長は「出場おめでとうございます。夏見る景色はみなさんしか見られない貴重な経験です。プライドを持ってプレーし、頂点を目指してがんばって下さい」と激励した。

第36回全日本小学生女子ソフトボール大会に出場する「習志野スーパーガールズ」のメンバーが7月12日、習志野市役所を訪れ、宮本市長に出場報告を行った。

習志野スーパーガールズは市内の小学生女子ソフトボールチームに所属する5年生と6年生の選抜選手で構成されている。チームは春季全日本大会に続き、春夏連続で全国大会出場にする。夏の全国大会出場は5年ぶり3回目。大会には全日本から47チームが参加し、7月30日から8月2日まで、滋賀県草津市の草津グリーンスタジアムほかで開催される。(既報)

習志野スーパーガールズ